

本紙は、毎号テーマに沿った本やDVDを選んで、あらすじや編集委員の読後感などを紹介しています。今号は、わたしたち編集委員のお勧め図書を掲載します。With コロナの日々、読書が心の糧となれば幸いです。

もう「女の家事」はやめなさい (2019/12)

～「飯炊き女」返上が家族を救う～

〔分類番号：女性問題 590.1〕

佐光紀子著 さくら舎



「家事は女が」さらに「家事はきちんと」の呪いにかかっていますか？という著者の問いかけにハッとさせられます。

日本では、概ね料理は愛情表現等と言われますが、健康を維持するための生活技術にすぎないと言う著者。脱家事の方法を、自分の経験を例に説いているのですが、なるほどと納得できる内容に、肩の荷が下り、読後感は大いにさわやか。最終章に「夫は0歳児のままか」とあり、笑ってしまいました。子育て真っただ中の女性に読んで欲しい一冊です。(はっしー)

イエスの意味はイエス、それから… (2020/10)

〔分類番号：女性問題 367.9〕

カロリン・エムケ著・浅井晶子訳
みすず書房



世界的な運動になった#MeToo運動をきっかけに、性暴力、ひいてはセクハラ全般についてまで考察した一冊。

性行為等において「ノー」と一線を引けば解決なのではなく、自らの意思が明らかにされ、互いの合意があつての「イエス」は疑いようのない「イエス」となる。そして「それから」の始まりに過ぎない。

「はじめに疑念がある」の一文から始まる文章構成や、著者のつぶやくように自問自答する文体に、不思議と吸い込まれる。暴力の背景にある被害者の感情的な依存や虐待や抑圧のために濫用される権力を紐解くにつれ、私も本気で考えねばと思わせる。(白くま)

娘のトリセツ (2020/10)

〔分類番号：女性問題 367.3〕 黒川伊保子著 小学館



本書は「夫」「妻」に続く「トリセツ」第三弾。文章は、平易にして切れがあり、自らの経験と科学者としての視点から展開されている。私自身もどう娘、妻に向き合ってきたのかを考えさせられた。

著者の父親が娘(著者)とどう接してきたかが語られる中、父がよく口に「悲しいことだな」という言葉や、母娘が口論になった時に、娘の自己肥大化を防ぐために母親の味方をしたエピソードが心に残る。素敵な父親にしてこの娘(著者)ありか？

父が娘とどう向き合うかをきっかけとして、男女、年齢に関係なく、社会や他人の評価を超え、個としてどうあるべきかを考えさせてくれる。(ずらだ)

情報ライブラリー利用案内

- 利用時間 9:00～19:00
- 休館日 月曜日、祝日、年末年始、図書整理日(月末)
- 貸出数 図書5冊(2週間)
ビデオ・DVD1本(1週間)
郵送での貸出、返却も行っていきます

★ パッケージ貸出のご案内 ★

利用目的に合わせて図書やDVDをまとめて貸し出すサービスを行っています。(～30冊程度)

- 利用者登録(団体)が必要
- 貸出期間は1ヶ月

男女共同参画の啓発・学習などの際に
ご活用ください!





新着図書



◆HPでも新着やテーマ別の図書・DVD等を紹介しています◆

タイトル	内容
アドラーに救われた女性たち 親子関係・夫婦関係に悩むあなたへ つるたえみこ 著 みらいパブリッシング (2020.4)	著者自身がどうやってアドラー心理学に出会い、カウンセラーとして、人間関係に悩む女性たちにどのように寄り添ってきたのか。実体験をもとにした内容であり、テンポよく読むことができる。すべての女性が、さまざまな悩みを解決し幸せに生きていくための勇気をもたらえる1冊。
働く女性のやる気スイッチ 持てる力を120%引き出す並走型マネジメント 世永亜実 著 翔泳社 (2020.7)	女性社員9割の服飾ブランド「サマンサタバサ」で、執行役員を務めた著者。その経験をもとに、女性たちがイキイキと夢中になって働くためのマネジメントのポイントが、分かりやすくまとめてある。女性を部下に持つ男性にも是非読んでもらいたい。働く女性の本音を引き出すヒントがあるはず。
明治を生きた男装の女医—高橋瑞物語 田中ひかる 著 中央公論新社 (2020.7)	女性が医師になることが許されなかった時代に、女医第3号として活躍した高橋瑞。“お産によって命を落とす女性たち”を救いたいと医師を目指した彼女の背景には、彼女が出逢い、見送った無名の女性たちの運命があった。江戸から昭和を駆け抜けた高橋瑞の生涯を追う。
「男女格差後進国」の衝撃 無意識のジェンダー・バイアスを克服する 治部れんげ 著 小学館 (2020.10)	政府が女性活躍を推進しても日本の男女格差が改善されないのは、我々が「男女格差が大きい」と実感していないからだ指摘する著者。諸外国の取り組みや国内の成功例を挙げながら、「男だから、女だから」という無意識の決めつけに気づかせてくれる。
彼女たちの部屋 レティシア・コロンバニ 著 齋藤可津子 訳 早川書房 (2020.6)	パリの保護施設「女性会館」をめぐる2つの物語。暴力・貧困・差別による過酷な状況下の女性たちと関わる現代のソレーヌと100年前、路頭に迷う女性たちを救うため女性会館の創設に奔走したブランシュ。時を超えた2人を繋ぐ「人を助ける」という思いや彼女たちの人生に引き込まれていく。
本当はごはんを作るのが好きなのに、 しんどくなった人たちへ コウケンテツ 著 ぴあ (2020.9)	「料理がしんどい」と感じる人たちの苦労を軽くしようという著者の思いから生まれた本書。料理研究家でも毎日のごはん作りはしんどい！と、自身の日々のごはん事情を明かし、『もっと気楽に・簡単に・“自分の料理”で』とそっと背中を押してくれる。著者の優しさと料理への愛が詰まった1冊。



あすてらす 映画上映会



映画上映会では、女性の生き方、家族とのかかわり方など、女性に関わる問題をテーマとする映画をお楽しみいただけます。



3月27日(土) 14:00~

えちてつ物語~わたし、故郷に帰ってきました。

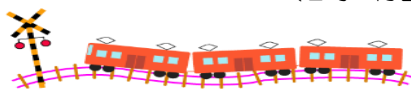
(児玉宜久/2018年 日本 109分)

無料・要申込・定員70名

福井県のえちぜん鉄道を舞台に、夢に挫折しながらも、新しい道を見つけ、前に進む女性を描く。

©2018「ローカル線ガールズ」製作委員会

(日時・内容は都合により変更になる場合があります)



■お問い合わせ先■

島根県立男女共同参画センター「あすてらす」情報ライブラリー
〒694-0064 島根県大田市大田町大田イ 236-4
Tel : 0854-84-5557 Fax : 0854-84-5589
ホームページ <https://www.asuterasu-shimane.or.jp>

期間限定!

あすてらすの本を
送料無料で貸し出します!

コロナウイルスの影響で外出を控えている方、遠方にお住まいであすてらすに来館できない方、この機会にぜひ、ご利用ください。

*** 編集後記 ***

昨年の夏に縁あって俳句デビュー。月に一度の句会は、大先輩方に素敵な刺激をいただける楽しい学びの時間です。

殊に「歳時記」は、日本の四季の表現の繊細さ、奥深さを気づかせてくれます。皆さまも手に取ってみませんか? (まゆ)